

高校ベンチャー留学2019～第13期生～

4日間の出会いがあなたの人生を変える！

★期	間	令和元年8月6日(火)～8月9日(金)
★参	加	今治市の高校生 6名
★内	容	8月6日(火)～8月8日(木) ふるさと企業1社、ベンチャー企業3社、企業1社へ訪問
		8月9日(金) 今治地域地場産業振興センターにて成果発表会

プログラム

タイムスケジュール	
2019年8月6日(火) 高校ベンチャー留学 1日目(東京・川崎)	
時間	内容
【留学ゼミ1】 13:20～ 14:50	ペットリファインテクノロジーへ訪問 代表取締役社長/高尾 正樹 氏  
【ミーティング】 17:40～ 18:40	公益財団法人 東予育英会 東予学舎  

2019年8月7日(水) 高校ベンチャー留学 2日目(東京・船橋)

時間	内容
【留学ゼミ2】 10:00~ 12:00	パイプドHD株式会社へ訪問 代表取締役社長/佐谷 宣昭 氏



【留学ゼミ3】 13:30~ 15:00	株式会社ピーターパンへ訪問 取締役会長/横手 和彦 氏
----------------------------	--------------------------------



2019年8月8日(木) 高校ベンチャー留学 3日目(東京)

時間	内容
【留学ゼミ4】 09:30~ 11:00	コネクテッドロボティクス株式会社へ訪問 代表取締役/沢登 哲也 氏
【留学ゼミ5】 13:00~ 14:30	株式会社日立システムズへ訪問



時間	内容
<p>【成果発表会】 15:00~ 16:00</p>	<p>東京で出会った社長との対話で、自分の目指す将来には何が必要かを深く考え、目的達成のための計画表「自分プロジェクト」を作りました。それをプレゼン形式でコメンテーターの方や保護者の方の前で発表しました。</p>
	 <p>The collage consists of six photographs documenting the 'Results Presentation Meeting'. The top-left photo shows students in light blue shirts working at long tables, focused on their papers. The top-right photo shows a student presenting at a whiteboard in a classroom setting. The middle-left photo shows a student standing and pointing to a whiteboard filled with handwritten notes. The middle-right photo shows a student presenting to a group of people seated at tables. The bottom-left photo shows a student presenting at a whiteboard while others listen. The bottom-right photo is a group photo of the participating students and a man in a dark suit, likely a mentor or organizer, standing together for a commemorative shot.</p>

高校ベンチャー留学に参加し、東京の社長さんと出会ってどう感じましたか？



今治東中等教育学校4年生
山内 大輝くん

高校ベンチャー留学に参加して多くの社長さんと従業員の皆さんと出会い、皆さんからとても大きなエネルギーを感じました。そのエネルギーの原動力は、仕事を楽しむ事だそうです。私は、仕事についてマイナスのイメージが強かったのですが、今回の話を聞いて仕事のおもしろさや楽しさなどを知ることができ、前向きにがんばられるようになりました。この経験を活かして、これからの夢に向かって頑張っていきたいと思います。



今治東中等教育学校 6年生

馬場 優汰くん

今回のベンチャー留学を通して僕のテーマでもあった物の見方の幅を少しだけ
かもしませんが広げることができたと思います。社長の考えはととても様々でし
た。特に印象に残っている言葉があります。それはピーターパンの横手会長がお
っしゃっていた「失敗を失敗とせず自分の糧とする。」です。さまざまな人生の転
機を経験しているからこそその説得力がありました。今回の経験を今後の生活に活
かしていきたいと思いました。



今治東中等教育学校 6年生

兵頭 人和くん

今回ベンチャー企業を通してたくさんのことを学びました。同じ社長という立
場の人たちでもちがう考え方だったのでとても面白かったです。その中でも、パ
イブドHDの佐谷さんの話が印象強いです。自分は、なかなか将来の夢が決ま
らず悩んでいたけれど、佐谷さんは「無理矢理決めなくてよい、自分に与えら
れていること好きな事をがんばっていれば、自ずとやりたいことが見えてくる」と
仰っていたのでこれから見つけていきたいです。



今治東中等教育学校 6年生

長井 郁人くん

どの社長さんからも強い意志を感じられました。失敗する事を恐れず、将来ど
のような世の中になっていくとか分からないので、挑戦でもあり、冒険なんだ
なと改めてわかりました。そして、決して信念を曲げず、最後まで仲間とやり遂
げていくことが一番大事なことだと分かり、すごく自分のためになるものでした。



今治東中等教育学校 6年生

渡邊 日菜さん

今回の高校ベンチャー留学に参加して、考えの幅が広がりました。自分では考
えられなかった事業を起こしていたり、自分では感じない思いも他の人だと感じ
ていたり、人と人との考え方の違いを改めて感じました。なので将来、心理を
利用した商品開発を行う時にこの経験を頭において活動して行こうと思いまし
た。そして、この高校ベンチャー留学に参加して良かったと思えるように、学ん
だことを日頃の生活から積極的に取り入れようと思いました。



今治明德高等学校矢田分校

1年生

大河 蒼聖くん

僕は今回5社の企業を見学しました。どんな質問も真剣に聞いて答えていただ
き、どの社長も優しい人だったなという印象が残りました。また、確固たる考え
方と決断力を持っていて、人生経験の話や聞くときなどとても新鮮な時間でした。
そのような話の中で失敗から学んで活かすことが大切であることがわかったので
僕も恐れず新しい事に積極的に挑戦しようと思いました。最後にたくさんの人の
支えと協力で今の僕があるので感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

パイプドHD株式会社 代表取締役社長 佐谷 宣昭 氏

奥左から
 今治明德高等学校 矢田分校 1年生 大河 蒼聖くん
 今治東中等教育学校 4年生 山内 大輝くん
 手前左から
 今治東中等教育学校 6年生 長井 郁人くん
 今治東中等教育学校 6年生 馬場 優汰くん
 パイプドHD株式会社
 代表取締役社長 佐谷 宣昭氏
 今治東中等教育学校 6年生 兵頭 人和くん
 今治東中等教育学校 6年生 渡邊 日菜さん

引率大学生
 法政大学
 千葉 泰雅さん
 東京都大学
 越智 悠馬さん
 首都大学東京
 松尾 天瑠旗さん



私がパイプドホールディングスで佐谷社長の話しを聞いて学んだことは、「これからは逆回転の時代になる」ということです。今の日本は少子高齢化が進んでいる中で改革していかなければなりません。その中で進化していくのではなくて逆に戻っていくということなんです。昔は商店街などを中心に栄えていたけれどスーパーや商業施設が郊外にできたことで過疎化してきました。それを元に戻して商店街を盛んにしようということでした。これを聞いて私は新しい技術や進歩も大切なことだけど昔の良さをもっと取り入れるべきだと思いました。そうすれば、車を使わなくなる高齢者の方や地域の方達も安心して暮らせるようになるのではないかと思っています。

(兵頭人和)

「逆回転の重要性」

『高校ベンチャー留学2019』新聞 2019.8/6〜8/9
 主催・今治地域地場産業振興センター

起業する上で大事なことは、人脈と信念ということが分かりました。この先どのような社会になっていくのかというのを予測して、会社を立ち上げ継続していくためには、仲間と話し合いながら経営しないといけないですね。人と人とのつながりを強くし、お互いをサポートし合える会社で成功していくのだろうと思います。

二つ目の信念は、この先どうなるのか分からない状態で挑むのは、絶対に不安があります。しかし、そこであきらめるのではなく、失敗を恐れずに冒険するのが大事であり、自分の信念を見失わずにやっていくことも成功のために必要だと分かり、自分も信念を持ち続けて行動するようにしたいです。

(長井郁人)

「人脈と信念」



高校ベンチャー留学事業は平成十八年からの事業で、開始当初から高校生の受け入れをしていただいている唯一の企業です。受け入れをお願いしたころは株式上場を控えてお忙しい時期にもかかわらず高校生一人一人にアドバイスをいただきました。現在ではグループ全体で社員が五百名を超える企業に発展し、益々お忙しい中での訪問でしたが、最初の訪問時と変わっていただき、一人一人の質問に答えていただく、これからたくさんの方々の選り抜くしていただく高校生の選り抜くしていただく大切な言葉をいただきました。

毎回お時間を取っていただきありがとうございます！



社長と名刺交換

日本環境設計株式会社 代表取締役社長 高尾 正樹 氏

「考え方」

訪問する前の事前調べから一番興味のある会社でした。その理由は現在大きな問題となっていて環境問題の解決を先駆けている会社だったからです。実際に訪問してみてもゴミ問題についての現状を知らされました。その中で今後必要になってくるバイオエタノールを綿製品から取り出すことに成功して環境問題の解決に取り組んでいました。

そして高尾社長がこのようなことを実現することができた理由としては「おもしろい人に乗った。」というところをおっしゃっていました。僕はとてもおもしろい考えだなと思います。同じ考えの人に乗ったとしても事業を起すことは簡単な事ではないと思ってしまうのですが、起業だけではなく物事においても考えすぎもよくないのかなと感じました。

(馬場優汰)



「楽しいと思う仕事」

私が思い浮かべる仕事のイメージは、しんどい、つかれるといったマイナスイメージが大半を占めていました。しかし、今回の高尾社長の話を聞いて仕事に対する考えが変わりました。

彼は、仕事は楽しいと思うことが大切だとおっしゃっていました。人を驚かす様な発想力で、多くの人々の心をつかみ、今まで様々な事業に挑戦してきたそうです。今回の訪問時には、今考えているアイデアを少し話して頂けました。私はそれを聞き、とてもワクワクしました。自分のアイデアが形になり、人の為になる様なそういう仕事を今後してみたいと思うようになりました。

(山内大輝)



株式会社ピーターパン 取締役会長 横手 和彦 氏

「理念の重要性」

私が株式会社ピーターパンの横手会長の話の中で印象に残ったことは会社の理念体系についての話です。理念体系は全部で八項目で成り立っていて、私が特に参考にしたいと思ったのは行動指針についてです。行動指針とは、大きな声で返事をし笑顔で挨拶をすることや、整理・整頓・清掃を励行し、清潔な職場を維持するなど、当たり前のことをするということです。最近では、当たり前の事だと分かっている人も、それができていない人が多く問題になっていくことが多々あります。しかし、当たり前のことでも指針にすることで意識が上がり、このようならばらしい会社を立ち上げることができたのだと感じました。この指針は他の職場や普通の生活でも活用できると思うので、これから生活に活かしていこうと思います。



(渡邊日菜)

「横手会長から学んだこと」

僕がピーターパンさんを見学し、横手会長の話を聞いた中で特に二つのことを感じ、学ぶことが出来ました。一つ目は、自分の好きな事を追い求めていくことです。会長自身の成功の経験から人生の転機には必ず勉強したという言葉聞き、僕も目の前の事を一生懸命取り組んでいこうと思いました。二つ目は、社員さんを大切にして、働きやすい職場を作ることです。僕も将来、社員から良い職場だと思ってもらえるような職場を作れるよう頑張ろうと思いました。最後に横手会長は今の十代の人にはがんばってもいいので、その期待を裏切らないよう自分なりにがんばっていきこうと思います。

(大河蒼聖)

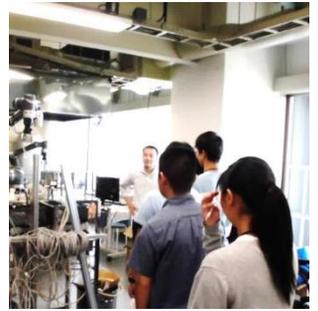


コネクテッドロボティクス株式会社 代表取締役 沢登 哲也 氏

「沢登社長から学んだこと」

僕がコネクテッドロボティクスさんを見学し沢登社長の話を聞くことで特に二つの事が印象に残りました。一つ目は、なぜ会社を東京で立ち上げたのですかという質問に対し、優秀なエンジニアなどの人材を集めやすいからだとおっしゃっていました。このことから、場所は良い会社をつくるための一つの要素であることがわかりました。二つ目は、国内だけではなく海外へと視野を広げることです。社内見学でエンジニアの半分が外国人であることを知り、グローバルな環境に身を置き、普段から英語で会話することはいいなと思いました。また海外を知っておくことで仕事でも視野が広がり目指す場所が違ってくると思います、元々持っていた海外への思いがもっと強まりました。

(大河蒼壁)



「社内の雰囲気」

私がコネクテッドロボティクス社を訪問していいなと思ったことは大学内にあり大学で学んだことをより専門的に学べるのだと思います。これからはAIの時代になり機械化が進んでいきます。日本はロボットの技術は進んでいるけど海外ほど取り入れていないそうです。その中でこの訪問した企業は将来的に見て需要がある食品向けロボットの開発に励んでいるそうです。それ以外にも、社内の雰囲気もよく上下関係もあまり感じられないような良い会社でした。沢登社長は意見が衝突できるようにしているそうです。そして決まった事は素直に受けとめ開発に励んでいるそうです。ここでは、技術だけではなく人間関係のことについても学ぶことができて良かったです。

(兵頭和人)



株式会社日立システムズ

「大企業」

私は日立と聞いて、すごい大手だなと最初思いました。実際に仕事をしているフロアを見学すると、社員同士が話しやすい席や、自由に座ることのできるオフィスで、すごく仕事に集中できるスペースで社員が働きやすい環境だなと思いました。大企業でないといけない仕事だなと思ったのは、中小企業やベンチャー企業にサービスマンなどを提供することでした。ベンチャーなどは、資金集めにすごく時間がかかるので、そこをサポートしたり、ベンチャーの良いところと日立さんの良いところを足したりして、新しい物をつくるなどといった協力をすることなども大企業ならではの仕事なのだとわかりました。

(長井郁人)



「積極的に動くことの重要性」

私が、日立システムズさんの訪問で印象に残っていることは、オフィスの使い方は日立システムズさんでは、デスクを固定しておらず、全てを自由席にしています。そのうするのには三つの利点があります。一つ目は、コスト削減、二つ目は、部署を越えたチーム編成が容易になることで、三つ目は、コミュニケーションの活性化につながります。最近では、自由席にする会社も増えてはいますが、まだまだ少ないのが現状です。しかし、このような大企業が新しい事に挑戦することでPRにもなり、他の会社にも大きな影響をおよぼすと思うので、積極的に行動することは企業としてとても重要だと感じました。

(渡邊日菜)



高校ベンチャー留学2019 公益財団法人 東予育英会 東予学舎



◇東予学舎の食堂を利用し、振り返りを実施しました。



東予学舎：愛媛県東予地区の高校を卒業し、進学のため、関東の学校へ入学見込の男子学生が利用できる学生寮。

高校ベンチャー留学2019 成果発表会



東京で出会った社長との対話で、自分の目指す将来には何が必要か深く考え、目的達成のための計画表「自分プロジェクト」を作りました。それをプレゼン形式でコメンテーターの方や保護者の方の前で発表しました。

「発表会を終えて」

今回のベンチャー留学を通して社長はそれぞれ違った考え方をもっていました。例えば高尾社長の「自分の適性を見極める。」や横手会長の「ぬるま湯のカエル。」や沢登社長の「熱中できるものを見つける。」などです。それぞれの社長がキーワードになる言葉をおっしゃっていたので発表会までに自分の言葉にできていけばもっと有効的に使うことができたのかなと思いました。今回のベンチャー留学を通してさまざまな考え方にふれることができたのでしっかりと忘れずに今後の生活に活かしたいと思いました。また今回の発表会で課題となった伝え方は今後話をするときに話の順序に気をつけて改善していきたいと思いました。

「人生の可能性」

(馬場優汰)

ベンチャー留学に応募しようと思った僕の動機は、会社を設立する人達に興味を持ったからです。どのような経緯で社長になり、何を目標にしているのか、これらのことをそれぞれ社長さんから聞いていくうちに私の疑問は関心へと変わっていききました。

元々社長を目指した訳ではなく、友人からの誘いや自分の長所を活かそうとして現在に至るのだと聞いた時は意外でした。会社を引張っていく上で大切にしている事や、起業する為には、どの様な知識が必要なのかなどの質問にも熱心に答えて頂けました。そして僕も起業の可能性を身近に感じる事ができ、今まで見ていた世界が違ったものに見えて、いろんなものに興味を覚えました。僕もチャンス逃さず夢をつかみたいと思います。

(山内大輝)